

グローバル化の中で格差拡大や貧困問題、生活物資の高騰など、将来への不安が広がる日本社会。
いま、社会連帯と市民の手による新しい公共づくりが求められている。
人間らしく生き、働き、暮らすことができる社会へ。
地域資源を活かした仕事おこし、多世代が交流できる居場所づくり、誰もがいきいき働ける地域へ。
協同集会は、それらの取り組みを交流しあい、学びあい、みんなで力を合わせて
一層大きな流れに飛躍させるステップとしたい。
農と命を育み産業・文化が豊かな新潟と、日本社会の未来に向けて。

会場案内



■新潟市体育館

新潟市中央区一番堀通町 3-1
新潟駅万代口（北口）
バスターミナルより 系統番号 7/7A
中央循環川岸町経由県庁行き
競技場前下車徒歩 7 分

越後線白山駅 下車徒歩 12 分

■新潟青陵大学

新潟市中央区水道町 1-5939
新潟駅万代口（北口）
バスターミナル 11 番新潟青陵大学・水族館前行き
新潟青陵大学前下車

越後線白山駅 下車徒歩 25 分

参加費

- 集会参加費：2,000 円（学生・障がい者 1,000 円）
両日通し（どちらか 1 日でも同額）
- 宿泊費：7,350 円（税込・朝食付）駐車場別
- 2日目昼食代：1,000 円
- 交流会参加費：3,000 円
- 参加ご希望の方はこのチラシの「実行委員会団体」もしくは
- 実行委員会新潟事務局
TEL：025-378-6806/FAX：025-230-6680
- 実行委員会東京事務局（日本労働者協同組合連合会内）
TEL：03-6907-8040/FAX：03-6907-8041
- 申込み締め切り：11 月 15 日（土）

主催：いま「協同」を拓く2008全国集会in新潟 実行委員会

〈実行委員会代表委員(50 音順)〉

黒岩卓夫（ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟 理事長）／笹森 清（労働者福祉中央協議会・協同労働法制化市民会議 会長）／古谷直道（日本労働者協同組合連合会 理事長）

〈実行委員会団体〉

日本労働者協同組合連合会／協同総合研究所／労働センター事業団／特定非営利活動法人ワーカーズコープ／日本高齢者生活協同組合連合会／ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟／社会連帯委員会／新潟県生活協同組合連合会／新潟県総合生活協同組合／CC福祉会／新潟 NPO 協会／パワフル・エイジング研究会／新潟県労働者福祉協議会／うちの実家／日本労働組合総連合会新潟県連合会／特定非営利活動法人青りんごの会／協同組合米ワールド 21 普及協議会／新潟県労働金庫／新潟県自然・環境保全連絡協議会／反貧困全国キャラバン 2008 新潟集会実行委員会事務局／ドリームハウス／新潟コミュニティバンク

〈協賛団体〉

JA 新潟中央会

〈後援〉

新潟県／新潟市／長岡市／三条市／新発田市／小千谷市／加茂市／十日町市／見附市／村上市／燕市／糸魚川市／妙高市／五泉市／上越市／阿賀野市／魚沼市／南魚沼市／胎内市／佐渡市／阿賀町／田上町／出雲崎町／川口町／湯沢町／津南町／弥彦村／刈羽村／関川村／新潟日報社／読売新聞新潟支局／朝日新聞新潟総局／毎日新聞新潟支局／産経新聞新潟支社／NHK 新潟放送局／NST 新潟総合テレビ／TeNY テレビ新潟／UX 新潟テレビ 21／BSN 新潟放送／エフエムラジオ新潟／FM PORT79.0／FM KENTO／新潟県社会福祉協議会／新潟市社会福祉協議会／財団法人新潟県女性財団

お問い合わせ

全国協同集会実行委員会 事務局

〒950-2026 新潟市西区小針南台3-16 ささえあい生協内
TEL 025-378-6806 / FAX 025-230-6680
ホームページ <http://kyodo-net.roukyou.gr.jp/2008/>

●取り扱い団体

いま「協同」を拓く 2008 全国集会 in 新潟

つながろう みんなで
希望の未来がここからはじまる

基調講演

「地域の力」著者
コモンズ代表・ジャーナリスト

大江 正章氏

「地域の力
～食・農・まちづくり～」

9月12日(金)NHK「地球発!どうする日本」に出演



日時 / 場所

全体集会
11月22日(土)12:30～17:30
新潟市体育館

テーマ別セッション
11月23日(日)9:30～15:00
新潟青陵大学

パネルディスカッション 1

希望ある労働の創造

反貧困ネットワーク
事務局長

湯浅 誠氏



全国コミュニティユニオン連合会
会長

鴨 桃代氏



パネルディスカッション 2

ともに生きる地域と絆の再生

新潟市長

篠田 昭氏



前我孫子市長

福嶋 浩彦氏



いま協同を拓く
2008全国集会

in 新潟

いま「協同」を拓く2008全国集会in新潟 実行委員会

生命と環境を育む、希望ある未来の創造へ

～ 協同と連帯の力で豊かな公共と地域・労働の再生 ～

12:30 オープニング 新潟総踊り
13:05 基調講演
大 江 正 章 氏
「地域のカー・食・農・まちづくり」

大江正章氏プロフィール
1957年 神奈川県生まれ
1980年 早稲田大学政治経済学部卒業、学陽書房入社
1996年 コモンズ創設
～現在 コモンズ代表、ジャーナリスト
主著:「地域のカー・食・まちづくり」(岩波新書/2008年)
「農業といふ仕事・食と環境を守る」(岩波ジュニア新書/2011年)
「公共を支える民～市民主体の地方自治」(共著、コモンズ/2001年)

14:20 パネルディスカッション1
ー 希望ある労働の創造 ー

●コーディネーター
笹森 清 氏
(労働者福祉中央協議会・協同労働法制化市民会議会長)
●パネラー
湯浅 誠 氏 (反貧困ネットワーク事務局長)
松原 幸夫 氏 (新潟大学社会連携研究センター教授)
鴨 桃代 氏 (全国ユニユニ・ユニオン連合会会長)
田中 羊子 氏 (ワーカースコープ・センター事業団専務理事)

16:00 パネルディスカッション2
ー ともに生きる地域と絆の再生 ー

●コーディネーター
永戸 祐三 氏 (ワーカースコープ・センター事業団理事長)
●パネラー
篠田 昭 氏 (新潟市長)
福岡 浩彦 氏 (前我孫子市長)
大瀧 聡 氏 (NPO 都岐沙羅・パートナーズセンター理事)
野澤 朗 氏 (上越市健康福祉部部長)

17:25 まとめ
17:30 終 了
18:30 } 交流会
20:30 }

いま協同を拓く
2008全国集会
in 新潟

セッション 2日目:11月23日(日) 9:30~15:00 開場 9:00

※パネラー等は変更になる場合があります

会場:新潟青陵大学

■第1セッション

共生の文化を育む環境の創造

地球全体で、環境の危機から生命の危機が進行しています。人間の経済活動や生活様式のあり方が、この危機を克服する絶対的課題となった時代。人間自身の生存条件を豊かにすること、あらゆる生命が共生・共存する環境の創造に向かうために、人間のあり方、人間と人間の関係、そして人間と他の生命・環境の折り合いを、創造していかなければいけません。協同・共生の文化を再生し、命を育む環境の創造にむけた実践から、課題と可能性を探ります。

●コーディネーター:
五十嵐寛 (日本自然環境専門学校)
●モデレーター:
植田和弘 (京都大学大学院経済学研究科教授)
●パネラー:
本間航介 (新潟大学農学部准教授)、仲川純子 (NPO トキども会代表)、金子 博 (NPO 地域連携ネットワーク)、宮垣 均 (徳島市コソノリ共生圏)、三上 亨 (NPO グリーンエネルギー普及)、重田孝好 (ワーカースコープ・ソーシャリエコファーズプロジェクト) 村田田次 (NPO 青緑センター)

■第8セッション

障がい者の仕事おこしと協同労働の可能性

障がい者の就労の問題は、今、大きな岐路に立っていると言えます。すなわち、従来の「福祉的就労」にとどまるのか、それとも「福祉の枠」を脱却して、新しい働き方を切り開くのかの分岐点です。本セッションでは、福祉でもなく営利企業でもない第3の道は「社会的事業所・社会的協同組合」への道を探ります。

●コーディネーター:
広島裕也 (NPO CIL新潟)
●モデレーター:
斎藤照三 (NPO共同連)
●講演:
佐藤弘毅 (市民セクター政策機構)
●パネラー:
熊倉龍雄 (新潟大手をつなぐ育成会)
大瀧聡夫 (新潟県障がい福祉課地域生活係)
中村富子 (NPO 青のり会)
新居 良 (難聴障害者労働センター)
石澤利子 (NPO ライフ)
高橋比呂志 (ワーカースコープ・センター事業団)

■第2セッション

輝く未来ある子どもたちへのメッセージ・市民主体のまちづくり

子育てに悩み行き詰まる親たち。子育てに希望と未来が見出せない社会。私たちのまちづくりは、生命を育み、未来に紡ぐ子育てを欠いて成立しません。地域には子どもを育むたくさんの力があるに違いありません。子育てを孤立化させず、地域で多様な人々が結び合い、その中で親も学び、子どもも豊かに育つ環境づくりを求め、多世代・多面から、子育てのネットワーク化を考えます。

●基調講演:
坪井秀和 (上越市健康福祉部子ども福祉課)
●コーディネーター:
上田直樹 (ワーカースコープ・センター事業団)
●パネラー:
大森宏子 (ババフル・エイジング研究会)
中條美奈子 (NPO マミーズネット)
新保早未子 (ドリームハウス)
池田早織 (新潟大学学生)
北山和代 (ワーカースコープ・センター事業団)

■第9セッション

新潟からはじまる ～持続可能なまちづくりのネットワーク化

福祉・環境・教育・伝統文化・NPOへの支援など、多様な切り口で取り組まれている「まちづくり」の市民活動。その「ネットワーク化」を図ることで、「持続可能なまちづくり」の課題に挑みます。新潟各地の活動を横に結び、交流・連携のきっかけをつくらせます。

●コーディネーター:
大塚 肇 (ワーカースコープ・センター事業団)
●講演:
「川から学ぶ地域の絆」
～ふるさとへの川づくり通船川～
星島卓典 (通船川・東ノ木川川ネットワーク)
●モデレーター:
荒井一弘 (協同総合研究所会員、農協労働)
●パネラー:
大瀬 孝 (新潟大学名誉教授、NPO 新潟水辺の会)
秋山三枝子 (認定NPOくまのぼり会)
田伏 寛 (岡崎市まちづくり課)
関原 剛 (NPO かみえちご山里ファン倶楽部)
是永幹夫 (株式会社わらび屋)

■第3セッション

地域・生活とむすぶ尊厳ある人間らしい働き方と協同労働の可能性

派遣や請負など、非正規労働にたずさわる人が全体の3割を超え、労働の分断・孤立と、貧困・格差が社会的問題として浮上しています。一方、人たに連なる労働として「協同労働」が注目され、その法制化が党議派の議員連盟の設立で現実的となりつつあります。人々が協同して働き、地域の再生をめざす事業を経営的に取り組むと、協同労働の実践と可能性について話し合います。

●コーディネーター:
永戸祐三 (ワーカースコープ・センター事業団)
●モデレーター:
宮崎隆志 (北海道大学教授)
●特別報告:
江花和郎 (連合新潟)
島村 博 (協同総合研究所)
●パネラー:
江花和郎 (連合新潟)、
藤本千草 (ワークス・ネットワークジャパン)、
北川勝子 (難聴障害者労働センター)、
渡辺みゆり (五泉市直売所いずみの広場)、
橋本典子 (ワーカースコープ・センター事業団)

■第10セッション

結びつきと信頼が育てる 食・農・生活の人間の再生

①都市と農村の交流の実践(食農協同とNPO食農ネットワークささかみの活動を軸に)、②自然と共存する「マイペース農業」の取り組み、③都市と農村の交流を通じた、共生の生き方へのアプローチ、④都市から農村へ。ふるさとと回帰、共生の社会づくり、⑤多様な生物相を育む豊かな農村環境、里山を守り育てる、消費者と生産者の協同、⑥次世代を育む食農教育の実践(学校給食の取り組みを軸に)、⑦21世紀型の米の消費拡大

以上から、人間的な生活と持続可能な共生の社会づくりを探ります。
●コーディネーター:
長崎清一 (新潟県総合生協)
●モデレーター:
佐藤克彦 (日本農業新聞甲信越支局)
●報告:
①田中政重 (JA ささかみ営農販売交流課)
②森高 哲夫 (マイペース農業交流会)
③若谷一豊 (リリシステム連合会)
④関 広一 (前小千谷市長)
⑤長部 裕 (JA 越後南陽)
⑥高橋和博 (新潟県総合生協)
⑦高橋仙一郎 (国内産米粉促進ネットワーク)

■第4セッション

これからの高齢社会像 元気に世代を超えた地域福祉ネット、まちづくり!

わたしたちの地域には健康で活気に満ちた、人生の達人としての高齢者がたくさんいます。支えたり支えられたりしながら、地域の活性化や健康福祉のまちづくりを実現させませんか。これからの高齢社会像・地域福祉ネットワークの課題を探ります。ファッションショーもあります。乞うご期待!

華麗なるファッションショー
(新潟でもなほ倶楽部)
●コーディネーター:
永戸祐三 (ワーカースコープ・センター事業団)
●モデレーター:
宮崎隆志 (北海道大学教授)
●特別報告:
江花和郎 (連合新潟)
島村 博 (協同総合研究所)
●パネラー:
江花和郎 (連合新潟)、
藤本千草 (ワークス・ネットワークジャパン)、
北川勝子 (難聴障害者労働センター)、
渡辺みゆり (五泉市直売所いずみの広場)、
橋本典子 (ワーカースコープ・センター事業団)

■第11セッション

語り合い、話し合い、 「真に創造していく文化」とは

今ある伝統文化、商人文化、郷土文化の中には、支えあひの協同が色濃く残っています。そもそも協同のしくみ無しに「文化」は存在しませんでした。かつての協同に光を当てて、昔の智慧を学び、現代に活かします。私たちが真に創造していくべき「文化」とは何か?を会場全体の話し合いの中で、明らかにしていきます。

●コーディネーター:
清水隆太郎 (NPO まちづくり学校)
●モデレーター (全体総括):
小川弘幸 (NPO文化環境)
●パネラー:
油谷雅次 (AUD 創造研究所・一級建築士)
清水義晴 (えにし屋)
新潟の「脈々と流れる文化」をつなぐ人々
●報告者:
満洲園 美あえんどう、
安田文子 (新潟市ボランティアガイド団掛け)
柴田光榮 (モアクリエイション、えんて、新潟くさ)

■第5セッション

豊かな公共を支え広げる市民自治

急速な規制緩和・構造改革の流れの中で、社会や生活の基本的枠組みである公共サービス分野へ民間化の波が押し寄せています。真の意味で「市民化・社会化」された豊かな「公共」とは何か。地域社会の再生を目指す各地の取組みを通して、豊かな公共を創造し、支え広げる新しい地域の担い手のあり方を探ります。

●コーディネーター:
福岡浩彦 (前我孫子市長)
●モデレーター:
前山総一郎 (八戸大学教授)、
大高研道 (聖学院大学准教授)
●パネラー:
矢野 学 (NPO「雪のふるさと安楽」)
川上伸一 (NPO「復興再生まちづくり新潟」)
辻野健二 (安芸高田市川根復興協議会)
三原京子 (タレント・介護支援専門員)
下村朋史 (NPO ワークスコープ 数寄屋地蔵センター)
須賀貴子 (東京農工大学大学院修士課程)

■第12セッション

格差・貧困の克服と社会連帯

グローバル化と新自由主義は、着しい格差を生み貧困を拡大・深刻化させてきました。奴隷のような働き方ばかりになり、セーフティネットはボロボロにされ、生き残ることが脅かされる社会が出現しています。放置できないこの状況に世代・地域・分野を超えてまわらなければならない。新たな連帯を確認し広げましょう。

●コーディネーター:
斎藤敏明 (連合新潟)
●講演:
宇部高徳院 (伊藤、反貧困ネットワーク代表)
●パネラー:
中村 昇 (新潟県労働金庫)
堀江 修 (百姓手運)
大山典史 (社会福祉士)
藤田敏彦 (新潟市生活福祉事務所)
宮 政治 (ワーカースコープ・センター事業団)
「反貧困全国キャラバン2008 新潟集會」実行委員会参加団体

■第6セッション

子育ての協同から生まれる コミュニティの再生

子どもたちの生活の豊かさや生きる力を育むためにー

ネット、ひきこもりや不登校の問題など、家庭、地域、学校の教育力の低下が言われています。国は、子育て支援、若者支援などに取り組んでいますが、大きな成果は上がっていません。子供たちの生きる力の向上に取り組んでいく実践をもとに、今どんな力が子どもたちに必要とされているのか、地域、家庭、学校の連携について、協同の力でつくる豊かな生活、地域づくりについて考えます。

●コーディネーター:
藤田 徹 (ワーカースコープ・センター事業団)
●講演:
岸 裕司 (学校と地域の融合教育研究所・秋津コミュニティ)
●パネラー:
①子ども貧困と向き合う児童館をめぐって (ワーカースコープ・センター事業団)、②障がいをもった子どもたちの豊かな放課後づくり (NPO りとるらいいい 片桐公彦)、③限界集落の中で子どもに伝える「生きる力」(NPO かみえちご山里ファン倶楽部、松川菜々子)、④市民と協同でつくる学校づくり (新潟県立立間中学校、せいろう共育ひろば みらいのたね)

■第13セッション

震災後の検証 ～阪神淡路から中越 支えあひを考える～

阪神淡路大震災、そして中越大震災という、2つの災害現場で起きている「限界」を再検討し、それぞれ何を学びあうことができるのか、さらには都市部と中山間地で共通する「支えあひ」とは何なのかを様々な視点から議論します。それをさらに再建の道筋として全国へと発信する手掛かりとしていきます。

●コーディネーター:
松本 誠 (市民まちづくり研究所)
●モデレーター:
澤田雅浩 (長岡造形大学准教授)
●パネラー:
中野和子 (フリーアナウンサー)
小千谷市・長岡市・神戸市の方々を予定

■第7セッション

若者の仕事と希望ある未来

未来を担うべき若者達が生きづらさを抱え、そのエネルギーが行き場を見失っている世の中に今こそ一石を投じよう。若者支援の現場からの報告や、働くことがそのまま社会貢献につながるような「社会起業家」の取り組みをヒントに、若者の仕事と働き方を考え、希望の持てる社会を展望します。

●コーディネーター:
目黒雄介 (新潟NPO協会、三条地域若者サポートステーション)、山藤紀芳 (ワーカースコープ・センター事業団)
●講演:
今 一生 (フリーライター&エディター)
●パネラー:
本多佳美 (NPO おおぞらコレーション)、迫 一成 (ヒッコリーストリートラバーズ)、桐山三智子 (農業・片品生活館)、鈴木寛之 (若菜農産サポートネットにいがた)、大沢誠子 (ワーカースコープ・センター事業団)、馬場義典 (みやぎ北若者サポートステーション)

■第14セッション

21世紀の協同組合運動の創造 ～地域再生をめざす協同組合運動～ (モントロゴンの視察報告)

日本の協同組合は、1人ひとりを豊かにしてきたのでしょうか。農業の現場で進む、高齢化、担い手不足。労働の現場で進む、格差と効率最優先の歪み。そして地域と生活に広がる安心と信頼、絆の崩壊。こうした社会的課題を解決するため、協同組合が内から外へと「協同」を広げながら、若者をはじめとしてあらゆる人たちが参加し、地域を活性化・再生する協同組合の展望について話し合います。

●コーディネーター:
岡安寛三郎 (協同総合研究所)
●モデレーター:
橋本吉広 (地域と協同の研究センター)
島田圭一郎 (前日本農業新聞社長)
●パネラー:
石塚義典夫 (元 JA ささかみ)
岡 幸子 (JA 佐渡経営管理委員会)
大内文雄 (しらたかノラの会)
山本一社 (野村・千の郷民生組合)
岡村健秀 (広島県生活協同組合連合会)
岡村かつ子 (ワーカースコープ・センター事業団)
●報告:
加瀬三千子 (福山市立短期大学教授)